

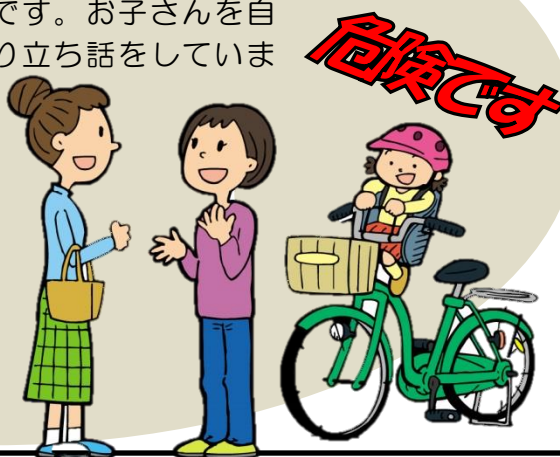
ヘルメットの「あごひも」をチェック!



「ヘルメットをかぶってれば大丈夫」ではありません。あごひもの調節をしていないと衝突や転倒の際にヘルメットがずれて頭や顔を守ることができないばかりか、首に余計な負担がかかり危険です。
あごひもは「カチッ」としめて、指が一本入るくらいに調節をしましょう。

お子さんを1人にしないでください

「ちょっと目を離した隙に…」と子どもの事故を報じるニュースは絶えません。事故は一瞬です。お子さんを自転車に乗せたままスマホを操作したり立ち話をしていませんか。自転車はバランスを崩しやすい乗り物です。お子さんがちょっと動いただけでも倒れる恐れがあり大変危険です。いつでも安全を第一に考えて行動するようにしましょう。



交通安全教育指導員



のむらさん

おうちのひとのための
交通安全新聞

9月号



鯖江市

2回目の交通安全教室がはじまります



みなさん、こんにちは!いとうちゃんです。9月に入り、2回目の交通安全教室が始まりました。2回目では信号や方向指示器のお話をした後に、年長さんは実際の道路に出て歩行訓練をします。警察や市が指導しますが、車を止めたりはせず、自然の交通状況に従って行われます。外ではなく、室内で歩行訓練をするところもありますが、車の来ない室内でも危険を想定してしっかり訓練してほしいです。
教室は楽しいイベントではありません。カッコいい気持ちで取り組めるようお家でもご指導お願いします。

「経験させる」を誤解しないでください



交通安全教育指導員
いとうちゃん



私がとても心配しているのは、交通安全教室を受けたからといって、お子さんを一人歩きをさせてしまう方がいるということです。幼い子どもが話を一度聞いただけで全てを理解し、安全行動を実践できるなんてことはありません。私たちの教室はあくまで「きっかけ」です。重要なのはおうちで交通安全教育を繰り返すことです。手をつないで一緒に歩いて、実際の道路のことが分かるようになるまで何度も教えてあげてください

教室があった日にはどんな話を聞いたか聞いてあげてください!

サバーンの
おやくそく
たいそう

サバーンのおやくそく
まもります ままもりまもります
くるまがこないか たしかめよう
こつこつあんぜん まもります
いつでもどこでも まもります

歌おう
踊ろう



サバーン

アゼリアン